

経営的課題が多い酪農経営体に対する総合的指導

紀南家畜保健衛生所
○山中克己 岩尾 基

【背景】

畜産振興において、慢性的な経営難に陥った経営体に対する改善指導は、重要かつ高難度の案件である。県の事業にて、(公社)畜産協会わかやまが養牛経営体を対象とした経営コンサルティングを行っている。2016から2018年における診断結果で、県内16戸のうち最も経営に課題が多いと考えられた酪農経営体を指導強化対象農家に選定した。当該農家は営業利益、経常利益ともに赤字状態である。農家概要は図1のとおりであり、小規模酪農である。

【目的・方法】

目的は所得向上と負のスパイラルからの脱却である。コストや手間をかけにくい中、経営者の関心を高める工夫¹⁾をしながら、種々の指導や対策を2017から2019年までの3年間実施した。

【課題】

課題探求のため、損益計算書、貸借対照表及び生乳出荷成績表等进行分析した結果、家族労働費を除く生産費には大きな問題はなかった。乳質と乳価は良好で特に体細胞数や細菌数は県内トップレベルを誇っている。しかし、多くの課題があるため①知識・技術、②ダウンナー症候群、③乳房炎、④栄養管理・慢性疾病等、⑤繁殖成績・改良・副産物、⑥労働時間の6個に区分し、各課題に対して総合的な指導を実施した。

【指導・対策】

- ①知識・技術：書籍を紹介し購入。繁殖和牛農家視察へ同行し和牛子牛育成指導。優良酪農家視察へ同行し疾病予防等を具体的に指導。
- ②ダウンナー症候群（難産・転倒予防）：産室作成及び牛床マット設置を指導。
- ③乳房炎：病傷事故多発のため乳汁細菌検査を実施。CMT変法による早期発見・治療、乳頭損傷予防及びおが粉の消毒を指導。
- ④栄養管理・慢性疾病等：飼料給与量と鉍塩給与について指導。パーネットを全頭に投与。カルシウム補給プログラム及びビタミン補給プログラムを作成し疾病予防を指導。異常産ワクチン接種。牛白血病検査及びBVD-MD検査を実施。
- ⑤繁殖成績・改良・副産物：表1の平均授精回数改善のため、繁殖検診（フレッシュチェック）により早期の子宮内膜炎治療を実

施。繁殖情報の記帳を開始。ホルスタインSort90の人工授精及び和牛のETを積極的に実施し、和牛子牛市場へ出荷するよう指導。県の事業にて堆肥をホームページで紹介。

⑥労働時間：国の事業を活用し、パイプラインミルクカーの導入をサポート。

【結果】

できたこと：書籍、繁殖和牛農家視察及び優良酪農家視察により知識や技術の理解を深めた。乳汁細菌検査により環境性細菌が原因であることを突き止め、乳房炎早期発見・治療を実施。飼料給与量を改善し、パーネット、カルシウム補給プログラム、ビタミン補給プログラム及び異常産ワクチンによる疾病予防を実施。牛白血病検査及びBVD-MD検査は陰性。繁殖検診、記帳、Sort90、ET、和牛子牛市場出荷を開始。堆肥販売促進及びパイプラインミルクカー導入。

できていないこと：産室作成、牛床マット設置、乳頭損傷予防、おが粉の消毒及び鉍塩給与ができていないため、現在も死産事故が存在。労働時間の短縮ができず、非常に長いままであり（表2）、労働時間に見合う所得が得られていない。

【考察】

様々な角度から繰り返し重点的指導やサポートを実施し、多くの対策で実行や進歩がみられた。しかし、指導内容を理解しても取り組めないものが存在し、経営の数字にはまだ現れておらず、短時間での劇的な経営改善は至難である。未だ乳房炎のため次々と若齢牛の頭数が減少し、負のスパイラルが継続している。

対策に取り組めない要因はコスト、酪農知識・技術、指導者の交代、労働力・労働時間等であり、特に長時間労働によるものが大きいと考えられる。難易度の高い仕事をこなせるスキルをもった人材の不足及び偏在が長時間労働の原因である²⁾ため、経営者のスキルアップが不可欠である。劇的な改善は見込めなくても、少しずつ経営が改善するよう、今後は経営コンサルティングを毎年実施し、信頼関係を維持しながら重点的指導を継続し所得向上を図る。

【参考文献】

- 1) 上流モデリングによる業務改善手法入門 世古雅人著
- 2) 日本労働研究雑誌 2008年6月号(No.575)仕事管理と労働時間